

発刊に寄せて

『約束』

私と夕紀子さんの間には、彼女の父、画家佐藤定氏の存在は欠かせない。それは、

42年前、私が『行動美術岡山展』で、定氏の『備中神楽』(300号)との強烈な出逢いから始まつた。それは自ら耕して手にする豊かさとは別の、天から降ってきた幸せであつた。

人生は惚れたもん勝ち！ 2012年8月、私のコレクション100点で『佐藤定展』を開いた。運良く画集も作れた。

82回を記録した定氏の個展の案内状に当時、フリーライターの夕紀子さん的小文が載り始め、回を増す度に、案内状を待つ人が増えていった。おやじはその喜びを「焼き餅焼くなあ」と逆説的な言葉を吐いて笑っていた。

定氏は「志ん生」、私は「圓生」で昭和を語り合い、平成では「小三治」と一緒に何度きいただろう。

だから、個展会場はスケッチ旅行の道端で拾い集めた小話と自らの創作した落ち話しじで、いつも笑いの花が咲いていた。

ある日、定氏から便りが届いた。待ちに待った娘の『グリム童話大賞』受賞の報告であった。DNAとは恐ろしいもので、その作品はユーモアに満ち、ウメばあちゃんのトンチは時代を越えて語られる古典落語を思わせた。私は即、紙芝居か絵本にすることを願い出た。

2019年12月、絵本制作チーム『Hohho・4』を結成。絵は、定氏と約束通り、若き日切磋琢磨しライバルでもあった、親友布下氏にお願いし快諾を得た。思つた通り、氏の優しい目で描き上げた絵は、ほのぼのと明るく、長閑な雰囲気を醸しだし『漬物大明神』は狙い通りの絵本で世に産み出す事が出来た。何という幸運だろう。一枚の絵からの邂逅からの交わりは二代に及びその中で私が手にした、この喜び、愉しみ、悲しみがどれ程私を育て、豊かさを味合わせてくれた事だろう。

2018年3月、定氏は娘の『林芙美子文学賞』の授賞式に同行し、一杯の祝杯と、満足の高笑いをあげながら、永い旅に出た。

私は多くの人達のご支援、ご協力を受けて定氏との約束が果たせた。皆さんに感謝し、そして、この絵本を定氏の墓前に供えたい。ありがとうございました。

柚木 平吉

文／小暮 夕紀子

1960年、岡山県生まれ。岡山大学卒。

2018年に第4回林芙美子文学賞を受賞し小説家デビュー。単行本では『タイ

ガー理髪店心中』(朝日新聞出版)、絵本童話『蚕のおくりもの』(吉備人出版)等がある。本作は第14回グリム童話賞受賞作(本名の小田由紀子名義)が地元有志により書籍化されたものである。

1937年生まれ。1960年、岡山大学(特美)卒後、教職41年勤務(中学／短大美術教科担当)

学(特美)卒後、教職41年勤務(中学／短大美術教科担当)
『画略歴』岡山県展、日展、白日展、行動美術展等に出品。2001年「布下満画集」刊行・同記念展。2019年「続・布下満画集」刊行・同記念展。〈現在〉画壇無所属。地域に根ざした文化活動に参加。

JCOPY(社出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写(電子化を含む)は著作権法上の例外を除き禁じられています。本書をコピーされる場合は、そのつど事前に社出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

また本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められていません。

漬物大明神 第14回グリム童話賞 大賞作品

2020年12月23日 初版発行

文 小暮 夕紀子(受賞時は小田由紀子)
絵 まんさく
発行者 柚木 平吉
企画 Hohho・4の会
構成・装丁 浅原 重子

発行

ふくろう出版

〒700-0035 岡山市北区高柳西町1-23
友野印刷ビル

TEL: 086-255-2181
FAX: 086-255-6324
<http://www.296.jp>
e-mail: info@296.jp
振替 01310-8-95147

印刷・製本 友野印刷株式会社

ISBN978-4-86186-800-9 C8793

定価はカバーに表示しております。落丁・落丁はお取り替えいたします。